

教科	地歴	科目	公共	単位数	2 単位	学年	1 学年
学科	工業	コース		教科書	高等学校 新公共（第一学習社）		
副教材							
学習目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。						

		学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			備考
				知 技	思 判 表	主 体	
1 学 期	4 月	第1編 公共の原 第1章 公共的な空間をつくる私たち ①社会に生きる私たち②個人の尊厳と自主・自立 ③多様性と共通性④伝統文化とのかかわり⑤自立した主体を目指して	・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを理解している。 ・古今東西の先人の取り組みや知恵など、社会に参画する際の選択や判断するための手掛かりとなる概念や理念を理解している。	◎		○	・中学校の内容を復習しながら進める。
	5 月	第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 ①人間と社会の在り方についての見方・考え方	・公共的な空間における基本原理を理解するとともに、現代の諸課題に対し、主体的に解決しようとする姿勢を身に付けている。	◎	◎	○	
	6 月	第3章 公共的な空間における基本原理 ①人間の尊厳と平等、個人の尊重②民主主義と法の支配 ③自由・権利と責任義務④日本国憲法に生きる基本原理 第2編 自立した主体として社会の形成に参画する私たち 第1章法の主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割 ①私たちと法②法と基本的人権 ③自由に生きる権利 ④平等に生きる権利 ⑤安全で豊かに生きる権利⑥法をよりよいものにする権利	・法や規範に基づいて意見や利害を調整することにより、権利や自由が保障され、社会の秩序が形成、維持されていることを理解するとともに、現代社会の課題も考察している。 ・法やルールを定める時には、どのようなことに配慮する必要があるかを理解している。	◎	◎	○	
	7 月	主題2 契約と消費者の権利 ①さまざまな契約と法 ②消費者の権利と責任	・契約が対等な当事者間の合意であるといえるための条件を理解するとともに、公正、正義、幸福などに着目して、多角的多面的に表現している。	◎	◎	○	
			・個人や社会の紛争を法に基づいて公正に解決するために必要なしくみを理解し、国民が果たすべき責任を考察している。	◎	◎	○	
			・民主政治を推進するために、私たちが果たすべき役割を理解するとともに、政治参加と公正な世論形成について考えている。	◎	◎	○	
			・公正、正義、幸福などに着目して、多角的多面的に考察や表現している。	◎	◎	○	
2 学 期	8 月	主題3 司法参加の意義 ①裁判所と司法 ②国民の司法参加	・主権国家が並び立つ国際社会は、どのように成り立っているか理解し、その課題を主体的に解決しようとしている。	◎	◎	○	・中学校の内容を復習しながら進める。
	9 月	第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論形成 ①私たちと選挙 ②選挙の現状課題 ③世論の形成と政治参加 ④国会と立法 ⑤内閣と行政 ⑥地方自治と住民福祉	・日本国憲法下、私たちが果たすべき責任を自覚するとともに、安全保障に関する情報を読み取り、まとめる技能を身に付けようとしている。	◎	◎	○	
	10 月	主題5 国際社会と国家主権 ①国家と国際法 ②国境と領土問題 ③国際連合の役割と課題	・国際社会の変化と日本の役割に関わる事柄や課題を自覚するとともに、現代の諸課題を主体的に解決しようとする姿勢を深めている。	◎	◎	○	
	11 月	主題6 日本の安全保障と防衛 ①平和主義と安全保障 ②日本の安全保障体制の変容③核兵器の廃絶と国際平和	・雇用と労働問題に関わる現実社会の課題を自覚するとともに、雇用と労働問題に関して、自分の将来の在り方を考えている。	◎	◎	○	
	12 月	主題7 国際社会の変化と日本の役割 ①今日の国際社会 ②人種民族問題と地域紛争③国際社会における日本の役割 第3章経済的な主体と私たち 主題8 雇用と労働問題 ①私たちと経済 ②労働者と権利 ③労働環境と課題	・社会の変化と職業観に関わる課題を理解するとともに、その解決に向けての取り組みもうとしている。	◎	◎	○	
		主題9 社会の変化と職業観①日本経済のこれまでとこれから②技術革新の進展 ③現代の企業④中小企業の現状と課題⑤日本の農林水産業	・公正で自由な経済活動を通して、市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解し諸課題に主体的に取り組もうとしている。	◎	◎	○	
		主題10市場経済の機能と限界①市場経済と経済運営②市場のしくみ ③経済発展と環境保全④国民所得と私たちの生活⑤経済成長と国民福祉	・経済において、金融市場はどのような役割を果たしているか理解している。	◎	◎	○	
3 学 期	1 月	主題11 金融の働き ①金融の意義と役割 ②金融のいま	・財政や社会保障を持続可能なものにするための政府の役割を理解し、日本の金融が抱える問題を解決する方法を考えている。	◎	◎	○	・中学校の内容を復習しながら進める。
	2 月	主題12 財政の役割と社会保障 ①財政のしくみと租税 ②日本の財政の課題 ③社会保障と国民福祉 ④これからの社会保障	・経済がグローバル化するなかで、貧困や格差などの問題を乗り越え、すべての人が幸福に暮らすために、国際社会がや私たちがどうあるべきかを考えている。	◎	◎	○	
	3 月	主題13 経済のグローバル化 ①国際分業と貿易 ②国際収支と国際経済体制 ③外国為替相場の動き ④グローバル化する経済 ⑤地域経済統合⑥国際社会における貧困格差 ⑦地球環境問題⑧資源エネルギー問題⑨国際社会のこれから	・経済のグローバル化に関わる問題を主体的に考えている。	◎	◎	○	
		第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち ①排出権取引を考える ②ベストミックスを考える ③ゲノム編集 ④インターネット投票を考える ⑤フェアトレード	・自立可能な地域、国家、社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を考察している。	◎	◎	○	
				◎	◎	○	

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

評価方法	定期考査、授業態度、発問評価、ノート提出、小テスト、レポート作成による観点別評価
------	--